



共立

パックテスト®

使用法

# 亜硫酸(高濃度)

型式 WAK-SO<sub>3</sub>(C)よう素比色法による  
Iodine Visual Colorimetric Method

主試薬 よう素酸

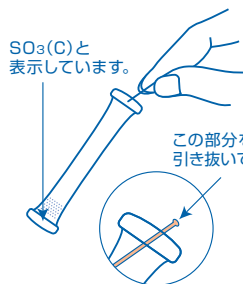
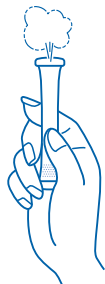
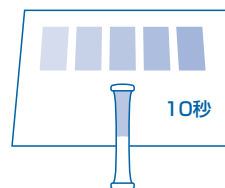
測定範囲 SO<sub>3</sub><sup>2-</sup> 50~2000 mg/L(ppm)

GHSマーク



危険

## 測り方

①チューブ先端のラインを  
引き抜きます。②穴を上にして、指でチューブ  
の下半分を強くつまみ、中の  
空気を追い出します。③そのまま②の状態、穴を  
検水の中に入れ、つまんだ  
指をゆるめ、半分くらい水  
を吸い込むまで待ちます。④かるく5~6回振りまぜて、  
10秒後に図のように標準色  
の上ののせて比色します。

## 比色と測定値の読み方

指定時間後にチューブ内の水の色を標準色と比べ、一番近い色の値がその検水の測定値になります。  
標準色の色と色の間の場合は、だいたいの中間の値を読んでください。

## パックテスト使用前、使用後の取扱い注意

チューブの内容物は**強酸性**です。

- 応急措置** 内容物が目に入ってしまったら → すぐに15分以上、水で洗い流してください。  
痛みや異常がなくても直後に必ず眼科医の診断を受けてください。
- 内容物が皮膚や衣服にふれたら → すぐに水で洗い流してください。
- 内容物が口に入ってしまったら → すぐに水で口の中を洗い流してください。
- 内容物を飲み込んだり、上記の措置後に異常がある場合には、すぐに医師の診断を受けてください。  
試薬の詳細は外箱背面の「GHSに基づく表示」をご参照ください。

**保管** ラミネート包装を開封した後は、なるべく早くご使用ください。**廃棄** 事業活動で使用する場合は、各関係法令に従って適切に廃棄してください。  
それ以外の場合は、チューブはそのまま「燃やすゴミ」としての廃棄も推奨しています。

### 試薬に関するお知らせ

本製品は、取扱い者へのMSDSの提供を義務づけた「PRTR法」、「労働安全衛生法」および「毒物及び劇物取締法」には該当しません。

株式会社 共立理化学研究所  
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.〒145-0071 東京都大田区田園調布5-37-11  
TEL:03-3721-9207 FAX:03-3721-0666  
http://kyoritsu-lab.co.jp kyoritsu@kyoritsu-lab.co.jp

## パックテスト 亜硫酸(高濃度)

### 特徴

この製品は、検水中の亜硫酸イオン( $\text{SO}_3^{2-}$ )を酸性下でよう素酸と反応させ、析出するよう素の黄色を標準色と比べることにより、還元処理工程などの高濃度の亜硫酸を簡単な操作で測定することができます。

### 注意

1. 亜硫酸イオンは空気によって酸化されるので測定は試料採取後直ちに行なってください。
2. 比色は、10秒から1分の間に行なってください。その時間を過ぎると、発色が黒っぽくなり、またチューブが紫色に着色してきます。
3. 発色時のpHは、2以下です。pHが9以上の検水は希硫酸等でpH7以下にしてから測定してください。
4. 測定範囲以上の検水は発泡し、危険です。高濃度が予想される場合には、必ず希釈してから測定してください。
5. 1回で検水をチューブの半分近くまで吸い込めなかった時には、穴を上にして空気を追い出し、もう一度やりなおしてください。
6. 比色する時に、多少試薬が溶解せずに残っていても測定には影響ありません。
7. 検水の温度は15~40℃で行なってください。水温が低いと発色に時間がかかります。
8. 比色は昼光で行なってください。直射日光や一部の蛍光灯、水銀灯では比色が困難になることがあります。
9. 発色後にラインをチューブ先端の穴に戻すと、チューブ内の水がもれなくなります。

### 共存物質の影響

標準色は、標準液を用いて作成しています。他の物質の影響が考えられる場合は、公定法と比較するか、標準液添加法により測定値を確認してください。下記は、標準液に単一の物質を添加した場合の発色への影響データです。

1000mg/L 以下は影響しない	...	$\text{Al}^{3+}$ 、 $\text{Ca}^{2+}$ 、 $\text{Cl}^-$ 、 $\text{K}^+$ 、 $\text{Mg}^{2+}$ 、 $\text{Na}^+$ 、 $\text{NH}_4^+$ 、 $\text{Ni}^{2+}$ 、 $\text{NO}_3^-$ 、 $\text{PO}_4^{3-}$ 、 $\text{SO}_4^{2-}$ 、陰イオン界面活性剤、ホルムアルデヒド	
100mg/L	//	...	$\text{Cu}^{2+}$ 、 $\text{Zn}^{2+}$
20mg/L	//	...	$\text{NO}_2^-$
10mg/L	//	...	$\text{Fe}^{2+}$ 、 $\text{Fe}^{3+}$

海水は影響しません。

検水にでんぷんを含む場合は、発色が紫色から黒色になることがあります。

還元性物質は、還元の強さにより発色を強めることがあります。

酸化性物質は、発色を弱めることがあります。